

環境経営レポート

2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)



三大宝建設株式会社



発行日:2022年5月10日

作成者:安藤 嘉一郎

1. 取組対象組織・活動

(1) 事業者名及び代表者名

三大宝建設株式会社

代表取締役：安藤 嘉一郎

(2) 所在地

〒520-3005 滋賀県栗東市御園452番地

(3) 環境責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：安藤 嘉一郎

TEL 077-558-2438 FAX:077-558-2249

E-mail:sandaihocon@sunny.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

法人設立年月：昭和45年1月

資本金：5,000万円

従業員：22人

売上高：7億8800万円/2021年度（2020年7月1日～2021年6月30日）

*事業年度は、7月1日～翌年6月30日です。

*環境取組対象期間は、4月1日～翌年3月31日です。

☆事業内容

☆建設業の許可

建設業（土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、建築工事業）、
産業廃棄物中間処理業、産業廃棄物収集運搬業、建材・再生建材販売

☆産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可番号：滋賀県知事 第02500011478号

許可年月日：平成15年12月1日

許可有効年月日：平成30年11月15日～平成35年11月30日

・事業の範囲：積替えのための保管を除く収集運搬

・事業の区分

産業廃棄物の種類

汚泥/工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する
不要物

☆産業廃棄物処分業許可の内容

優良産業廃棄物処理業者認定

許可番号：滋賀県知事 第02520011478号

許可年月日：平成16年2月3日

許可有効年月日：平成28年2月3日～平成35年2月2日

・事業の区分

中間処理（破碎）

産業廃棄物の種類：

工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物

処理能力（規模）：800t/日

(5) 事業規模

従業員 22名/2021年4月1日現在

活動範囲	面積	備考
敷地総面積（事業場）	48、591㎡	自社所有地
倉庫面積	66㎡	自社所有地
事務所床面積	287㎡	自社所有地
計量場面積	60㎡	自社所有地
リサイクル工場面積	600㎡	自社所有地

(6) 過去3年間の負荷の実績

	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素排出量	kg-co2	502,893	510,806	535,255
二酸化炭素百万円原単位	kg-co2/百万円	1,118	1,199	679
産業廃棄物排出量	t	1,012	170	351
上水使用量	m3	98	106	94
雨水使用量	m3	1,770	1,750	1,570

* 事務所電力は、リコー(株)の2018年度調整後排出係数の0.571kg-CO2/kWh、プラント電力は、大和ハウス工業(株)の2018年度調整後排出係数の0.493kg-CO2/kWhを建設現場電力は、関西電力(株)の2018年度調整後排出係数の0.4181kg-CO2/kWhを2020年から2022年の3ヶ年間固定とします。
* 化学物質の取り扱いはありません。

(7) 施設等の状況

収集運搬業

登録運搬車両の種類と台数(2021年4月1日現在)

10tダンプ 36台
2tダンプ 1台

処分業

処理施設の種類: 中間処理(破碎)

処理する産廃の種類:

工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物

処理能力(規模): 800t/日

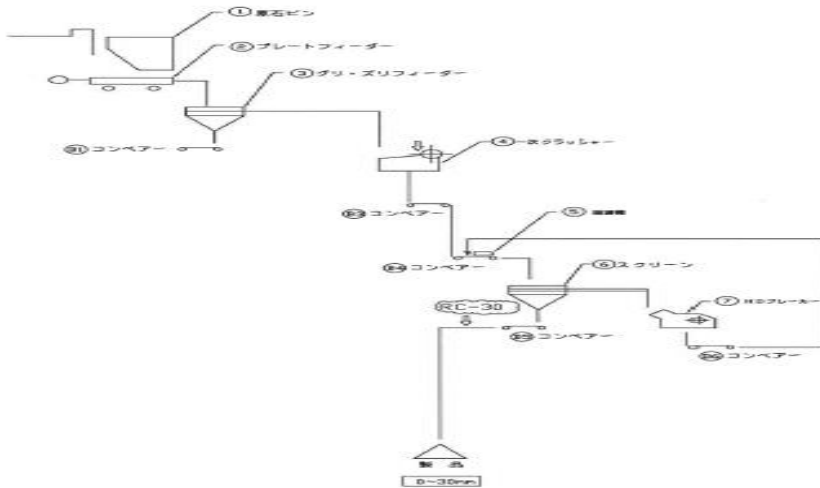
処理方式、処理工程図(破碎方式: 添付図参照)

(8) 施設の処理工程図 プラント部(リサイクル工場)



設備図

< 再生砕石 >



(9) 処理実績

単位: t

	2019年	2020年	2021年
受託した産業廃棄物収集運搬量	115,264	139,009	150,964
中間処理量	115,264	139,009	150,964
再資源化量	115,264	139,009	150,964
最終処分量	0	0	0

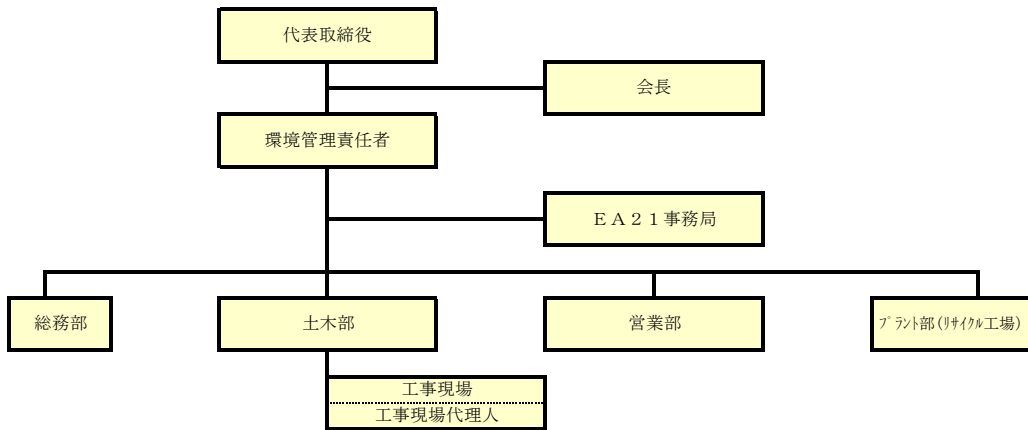
* 受託した産業廃棄物収集運搬量には、自社収集運搬量は含まれません。

(10) 廃棄物処理料金: 処理料金一覧表(運賃は含まない)

コンクリート殻: 見積りによる
アスファルト殻: 見積りによる
コンクリート殻(有筋): 見積りによる
廃日本瓦: 見積りによる

(11) 環境経営組織図及び役割、責任、権限表

EA2 1 実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。
	⑥環境経営レポートを承認・発行許可する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA2 1事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA2 1事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



三大宝建設株式会社

環境経営方針

当社は湖南地域を中心に土木建設業、及び建設廃材の中間処理業を行っています。京阪神の水瓶と言われる琵琶湖と環境県滋賀県を活動拠点としている当社においては環境経営を優先課題と位置づけております。全社員と協力しエコアクション21経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

当社は、下記に掲げる環境経営方針を定め、全員参加の環境保全活動を推進しています。

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 環境経営目標を定め定期的に見直しを行い、継続的に改善を実施いたします。
3. 環境影響への負担を軽減するために、次の活動をいたします。
 - ・地球温暖化防止のための省エネ活動を推進し、二酸化炭素排出の削減に取り組めます。
 - ・事業活動による廃棄物は徹底した分別とリサイクル化を積極的に行い、廃棄物の削減に取り組めます。
 - ・産業廃棄物処理業において、受託した産業廃棄物の再資源化の推進に取り組めます。
 - ・事業所では節水に努め、水使用量の削減に取り組めます。また建設現場からの排水する水の汚染・汚濁防止に取り組めます。
 - ・建設業においては排水、騒音粉塵のクレーム防止に徹し循環型社会の構築に配慮した環境配慮施工に取り組めます。
 - ・環境活動として、地域清掃活動(淡海エコフォスタ)に参加して社会貢献を推進します。
4. エコアクション21の観点からSDGsの取組にチャレンジします。
5. 太陽光発電により、クリーンな再生可能エネルギーの発電事業を推進します。

この環境経営方針は全従業員へ教育を行い日常活動を通じて周知徹底を図ります。

制定日：2006年10月1日

改訂日：2017年 4月3日

改訂日：2020年 4月1日

代表取締役 **安藤 嘉一郎**

3 環境経営目標とその実績

当社は、2006年からエコアクション2.1に取り組んでいます。2019年の実績を自己チェック等により把握し、その結果を基準値として、2020年から2022年までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2021年（2021年4月1日から2022年3月31日）の運用実績について取りまとめました。

評価：○目標達成 △ほぼ基準年値 ×目標未達成 次年度 次々年度

環境経営方針	取組項目	決算期 単位	2019年	取組年 2021年4月1日～ 2022年3月31日			2022年	2023年
			(基準年)	目標	(実績)	評価	目標	目標
・地球温暖化防止のための省エネ活動を推進し、二酸化炭素排出の削減に取り組めます。	電力使用量の削減 (kWh)	目標・基準年 達成率	-	98%	81.0%	○	97%	97%
		使用量	256,189	251,065	207,465		248,503	248,503
		(kg-CO ₂)	144,541	141,650	107,981		140,204	140,204
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年 達成率	-	98%	121.5%	×	97%	97%
		使用量	6,260	6,134	7,607		6,072	6,072
		(kg-CO ₂)	14,522	14,232	17,649		14,087	14,087
	軽油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年 達成率	-	98%	119.2%	×	97%	97%
		使用量	132,584	129,932	157,988		128,607	128,607
		(kg-CO ₂)	342,067	335,226	407,608		331,805	331,805
	灯油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年 達成率	-	98%	6.0%	○	97%	97%
		使用量	676	662	41		656	656
		(kg-CO ₂)	1,683	1,650	101		1,633	1,633
二酸化炭素排出量の削減		目標・基準年 達成率	-	98%	106.07%	△	97%	97%
		(kg-CO ₂)	502,813	492,757	533,339		487,729	487,729
二酸化炭素排出量百万円当り原単位		目標・基準年 達成率	-	97%	60.8%	○	96%	96%
		(kg-CO ₂ /百万円)	1,118	1,084	679		1,073	1,073
・産業廃棄物処理業において、受託した産業廃棄物の再資源化の推進に取り組めます。	再資源化率 (単位：%)	目標・取組年 達成率	-	-	100%	○	-	-
		(%/年)	100%	100%	100%		100%	100%
・事業活動による廃棄物は徹底した分別リサイクルを積極的に行い、廃棄物の削減に取り組めます。	分別及び建設リサイクルの推進 (単位：%)	目標・基準年 達成率	-	-	102.3%	○	-	-
		(%/年)	97%	97%	99.2%		97%	97%
・事業所では節水に努め、水使用量の削減に取り組めます。また建設現場からの排水する水の汚染・汚濁防止に取り組めます。	事業所利用水の節水(単位：m ³)	目標・基準年 達成率	-	98%	89.1%	○	97%	97%
		(m ³ /年)	1,868	1,831	1,664		1,812	1,812
	濁水防止の100%適正監視 (単位：%)	目標・取組年 達成率	-	-	100%	○	-	-
		(監視率)	100%	100%	100%		100%	100%
・建設業においては排水、騒音粉塵のクレーム防止に徹底循環型社会の構築に配慮した環境配慮施工に取り組めます。	環境配慮施工の100%推進 (単位：%)	目標・取組年 達成率	-	-	100%	○	-	-
		(推進率)	100%	100%	100%		100%	100%
・環境活動として、地域清掃活動(淡海エコフォスタ)に参加して社会貢献を推進します。	地域の美化清掃活動に参加する。 (単位：回)	目標・取組年 達成率	-	-	150%	○	-	-
		(参加回数/年)	12	12	18		12	12

目標の説明や補足事項

- 事務所電力は、リコー(株)の2018年度調整後排出係数の0.571kg-CO₂/kWh、プラント電力は、大和ハウス工業の2018年度調整後排出係数の0.493kg-CO₂/kWhを建設現場電力は、関西電力(株)の2018年度調整後排出係数の0.4181kg-CO₂/kWhを2020年から2022年の3ヶ年間固定とします
- 受託した産業廃棄物は、破碎により再資源化を行います
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物を総量で把握し、性状等を勘案して97%リサイクルで管理します
- 水使用量については、事務所における水使用量の削減について実施する。また建設現場では100%濁水監視します
- 環境配慮施工は、低騒音・低振動型重機と排ガス規制適合車両100%使用します
- 環境活動は淡海エコフォスタ活動で滋賀県・栗東市の美化活動に参加します
- LPG使用量は微量(使用量 638Kg, CO₂排出量 1,915CO₂-Kg)のため目標に掲げません。また化学物質の取り扱いはありません
- 2023年度の目標は、仮目標です
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組みます

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
<p>・地球温暖化防止のための省エネ活動を推進し、二酸化炭素排出の削減に取組めます。</p>	電力使用量の削減 (kWh)	① 不要時の消灯する ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフにする ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃) する	総務部、 営業部、 土木部、 プラント部
	ガソリン使用量の削減 (単位:L)	① 暖機運転・アイドリングストップ・エコドライブを励行する ② 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認をする ③ 環境に配慮した稼働をする	営業部、 土木部、 プラント部
	軽油使用量の削減 (単位:L)		
	灯油使用量の削減 (単位:L)	① ストープの温度管理 (冬季20℃±1℃)	
<p>・産業廃棄物処理業において、受託した産業廃棄物の再資源化の推進に取組めます。</p>	再資源化率 (単位:%)	① 受託した産業廃棄物は分別をして、再資源化に取り組む	プラント部
<p>・事業活動による廃棄物は徹底した分別とリサイクル化を積極的に行い、廃棄物の削減に取組めます。</p>	分別及び建設リサイクルの推進 (単位:%)	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用する	土木部、 プラント部
<p>・事業所では節水に努め、水使用量の削減に取組めます。また建設現場からの排水する水の汚染・汚濁防止に取組めます。</p>	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	① 洗車の水使用量を減らす ② 水を流しながらの洗い物はしない	総務部、 土木部、 プラント部
	濁水防止の100%適正監視 (単位:%)	① 濁水防止の適正監視する	土木部、 プラント部
<p>・建設業においては排水、騒音粉塵のクレーム防止に徹し循環型社会の構築に配慮した環境配慮施工に取組めます。</p>	環境配慮施工の100%推進 (単位:%)	① 環境配慮施工を推進する	土木部、 プラント部
<p>・環境活動として、地域清掃活動 (淡海エコフォスタ) に参加して社会貢献を推進します。</p>	地域の美化清掃活動に参加する。 (単位:回)	① 地域の美化・清掃活動に参加する	総務部 営業部 土木部 プラント部

取組の紹介

- 1 太陽光パネルを敷地内に設置し、売電している。
- 2 事務所内の主要箇所の蛍光灯をLEDに交換し、電力削減に寄与している
- 3 廃棄物は分別のコンテナを設置し、リサイクルを推進している
- 4 *環境清掃活動 (淡海エコフォスタ活動) とは、滋賀県との合意書に基づき、事業所周辺の道路や植栽の剪定などの環境美化を行うボランティア活動です

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営方針	取組項目	年度	取組年 2021年4月1日～ 2022年3月31日		取組の評価
			(目標)	(実績)	
・地球温暖化防止のための省エネ活動を推進し、二酸化炭素排出の削減に取組します。	電力使用量の削減 (kWh)	目標・基準年 達成率	98%	81.0%	昼休み時、不要時の消灯の実施により「98%に削減」の目標に対して「81%」の削減ができた。今後も、活動を推進していきたい。
		使用量	251,065	207,465	
		(kg-CO ₂)	141,650	107,981	
	ガソリン使用量の削減 (単位:L)	目標・基準年 達成率	98%	121.5%	遠方の現場の数と工事現場の数が増えたため、ガソリンは「98%に削減」に対して「121.5%」、軽油は「119.2%」と目標を超過した。原因は、重機による破砕量が昨年に比べ119%増えた。又、灯油は、6%に減少したことについては、2022年1月からファンヒーターをガスファンヒーターに替えたことによるものである。
		使用量	6,134	7,607	
		(kg-CO ₂)	14,232	17,649	
	軽油使用量の削減 (単位:L)	目標・基準年 達成率	98%	119.2%	
使用量		129,932	157,988		
(kg-CO ₂)		335,226	407,608		
灯油使用量の削減 (単位:L)	目標・基準年 達成率	98%	6.0%		
	使用量	662	41		
	(kg-CO ₂)	1,650	101		
二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年 達成率	98%	106.07%		
	(kg-CO ₂)	492,757	533,339		
二酸化炭素排出量 百万円当り原単位	目標・基準年 達成率	97%	60.8%		
	(kg-CO ₂ /百万円)	1,084	679		
・産業廃棄物処理業において、受託した産業廃棄物の再資源化の推進に取組します。	再資源化率 (単位:%)	目標・取組年 達成率	-	100%	受入の分別の徹底により、受託した産業廃棄物は、100%の再資源化率を達成した。
		(%/年)	100%	100%	
・事業活動による廃棄物は徹底した分別とリサイクルを積極的に行い、廃棄物の削減に取組します。	分別及び建設リサイクルの推進 (単位:%)	目標・基準年 達成率	-	102.3%	建設現場からの産業廃棄物は分別を徹底して、建設リサイクルに努めた。
		(%/年)	97%	99.2%	
・事業所では節水に努め、水使用量の削減に取組します。また建設現場からの排水する水の汚染・汚濁防止に取組します。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	目標・基準年 達成率	98%	89.1%	水道水の節約により「98%に削減」に対して「89.1%」と節約ができた。
		(m ³ /年)	1,831	1,664.0	
	濁水防止の100%適正監視 (単位:%)	目標・取組年 達成率	-	100%	濁水防止の適正監視を実施した。
		(監視率)	100%	100%	
・建設業においては排水、騒音粉塵のクレーム防止に徹し循環型社会の構築に配慮した環境配慮施工に取組します。	環境配慮施工の100%推進 (単位:%)	目標・取組年 達成率	-	100%	低騒音・低振動型重機及び排ガス規制適合車を現場で使用できている。
		(推進率)	100%	100%	
・環境活動として、地域清掃活動(淡海エコフォスタ)に参加して社会貢献を推進します。	地域の美化清掃活動に参加する。 (単位:回)	目標・取組年 達成率	-	150%	毎月淡海エコフォスター活動を実施、また滋賀県、栗東市の清掃活動に参加した。
		(参加回数/年)	12	18	

*2021年の主な取組結果

1. エコドライブ、重機の効率的な稼働を実践し、化石燃料使用量が減少した
2. 受託した産業廃棄物は、中間処理で100%再資源化した
3. 建設現場からの廃棄物は分別を徹底して99.2%リサイクル(再資源化)した
4. 建設現場等で騒音・濁水などによる苦情もなく取り組めた。
5. 低騒音・低振動型重機と排ガス規制適合車両100%使用し、重機・車両を買換えた。
6. 環境清掃活動は淡海エコフォスター活動他に積極的に参加した。

2022年の主な取組内容

1. 二酸化炭素排出削減取組では、節電、エコドライブ、重機の効率的な稼働等を実践する
2. 受託した産業廃棄物は、中間処理で100%再資源化する
3. 建設現場からの廃棄物は分別を徹底して総量を把握すると共に、性状等を勘案し97%リサイクルで管理する。
4. 水使用量については、事務所における水使用量の削減について実施する。また建設現場では100%濁水監視する
5. 環境配慮施工は、低騒音・低振動型重機と排ガス規制適合車両100%使用する
6. 環境清掃活動は淡海エコフォスター活動及び滋賀県・栗東市の美化活動に参加する

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反や訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	収集運搬業、処分業の許可と法遵守、一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設工事に係る資材の再資源化等の管理	遵守
資源有効利用促進法 建設副産物適正処理推進要綱	指定副産物の適正処分	遵守
大気汚染防止法	特定施設の届出、規制基準の順守、解体時のアスベストの事前調査等	遵守
騒音規制法	特定施設の届出、対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	特定施設の届出、対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
水質汚濁防止法	作業現場での事故等による汚濁水発生の届出	遵守
消防法	対象危険物保管の届出・管理	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車リサイクル券	遵守
フロン排出抑制法	機器の簡易点検・管理と適正処理、廃棄まで記録の保管	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

[環境経営方針・環境経営目標及び環境経営計画の達成状況]

前年比売上げが「184%」と増加し、遠方の現場の数と工事現場の数が増えたため、ガソリンは「98%に削減」に対して「121%」、軽油は「119%」と目標を超過して削減できなかった。原因は、重機による破砕量が昨年に比べ119%増えた。電力は問題なく削減できているが、ガソリンと軽油は仕事量により左右されるため、削減できないことが多々ある。又、灯油は、6%減少したことについては、2022年1月からファンヒーターをガスファンヒーターに替えたことによるものである。いずれも売上げ高増比以下であり問題はない。次年度も、目標達成手段を励行してゆく。

[環境経営システムの実施状況]

環境経営システムの実施状況に問題はない

[法規制等の遵守状況]

環境関連法規制等は遵守出来ている

[利害関係者等からの苦情・要望事項]

関連近隣住民等からの苦情は出ておりません。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

8 三大宝建設株式会社 SDG s 宣言

*日本は、豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現するため、一人ひとりの保護と能力強化に焦点を当てた「人間の安全保障」の理念に基づき、世界の「国づくり」と「人づくり」に貢献し、SDGsの力強い担い手たる日本の姿を国際社会に示す理念に賛同し、三大宝建設株式会社は、持続可能な開発目標達成に向けて【SDGs】宣言をします。

*SDGsとは先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境3つの側面のバランスが取れた社会を指す世界共通の目標として、2015年9月に国連で採択されました。貧困や飢餓、人や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、国々が間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標になっていて、17のゴール（目標）とそれぞれの下により具体的な169項目のターゲット（達成基準）があります。

*三大宝建設株式会社は、持続可能な開発目標達成に向けて【SDGs】宣言に基づき、「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「11 住み続けられるまちづくりを」「13 気候変動に具体的な対策を」「15 陸の豊かさを守ろう」をエコアクション21活動を通じて取組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

